

日本語日本文学科

教育基本方針
世界の中での日本文化の価値と意義を知り、広い視点から自国の文化を見直すとともに、世界に向けて発信するために、日本語と日本文学について、多面的かつ深く学ぶことを目標とします。また、日本語の高度な理解力と運用能力・表現能力を身につけることで、実社会のさまざまな分野で活躍することをめざします。
卒業認定・学位授与の方針
甲南大学では、学生一人ひとりの天賦の特性を啓発し、人物教育率先の甲南学園建学の理念を実現することを目的としています。日本語日本文学科の教育基本方針のもと、卒業必要単位数 130 単位以上（基礎共通科目 18 単位 外国語科目 8 単位 保健体育科目 2 単位 専門教育科目 102 単位以上）を修得し、次の能力・資質を身につけた学生に学士（文学）の学位を授与します。 (1) 教養ある社会人として責任感と倫理観を持ち、現代社会の発展に貢献する意志と能力を有するとともに、自らを律し、他者と協調・協働することができます。 (2) 天賦の特性を自ら伸ばして活用する意志と能力を有しています。 (3) 人文科学・自然科学・社会科学に関する基礎的教養、自己の能力・資質を社会生活で活用し得る基本的な技能及び自己の健康増進に関する技能を有しています。 (4) 世界に発信し得る、日本語と日本文学に関する知識と常識を有しています。 (5) 自らの考えを分かりやすく表現し、他者に伝える力を有しています。 (6) 的確な問いをたてて問題解決を図る意志と能力を有しています。
教育課程編成・実施の方針
文学部日本語日本文学科では、卒業認定・学位授与の方針に掲げる能力・資質などを修得させるために、基礎共通科目、外国語科目、保健体育科目、キャリア創生共通科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習若しくは実技のいずれか又はこれらを適切に組み合わせた授業を開講します。特に、文学部及び本学科では、①学生一人ひとりの顔が見える少人数クラス、②基礎・応用・発展の積み上げ方式による段階的学修、③研究リテラシー、問題解決能力、専門分野の知識の 3 本柱による系統的学修の考え方で教育課程を編成し、実施します。 また、卒業認定・学位授与の方針と各科目の関係性及び到達目標を示すカリキュラムマップ、カリキュラムの体系性・系統性を示すカリキュラムツリーを提示し、カリキュラムの構造をわかりやすく明示します。 カリキュラムは、各科目において学生が修得した GPA 及び、到達目標に定める学生の知識・能力の修得状況を集計し、その集計値を検証することにより見直し・改善を行います。 教育内容、教育方法、学修成果の評価については以下のように定めます。
1) 教育内容 (1) 初年次における基礎演習を必修とし、基礎的な読解力と表現力を養成します。 (2) 外国語によるコミュニケーション能力や異文化理解について学ぶ科目、心身両面の健康に対する配慮を学ぶ科目、情報を読み解く力について学ぶ科目を配置します。 (3) 建学の理念、専攻分野以外の領域を含む幅広い基礎的な知識及び異文化理解について学ぶ基礎共通科目を配置します。 (4) 専攻分野に関する知識及び論理的思考力を習得するため、初年次段階から年次進行に合わせて段階的に高度化する専門科目を体系的に配置します。 (5) キャリア教育により、日本語・日本文学に関する知識を社会で生かす力を養うとともに地域連携講座科目を通じて、地域との結びつきを形成する能力を養成します。 (6) 在学中の学修成果を集大成する仕組みとそれを評価する取組みとして、卒業研究を配置します。
2) 教育方法 (1) 1) に掲げた教育内容を身につけるために、講義、演習、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により授業を実施します。 (2) 論理的思考力、伝えたい内容を適切に表現し伝達する能力、問題解決力を養成するとともに、他者と協調・協働し、自ら率先して社会に貢献し、社会人に求められる責任感と倫理観について学ぶために、学生一人ひとりの顔がわかる少人数で学生参加型の実習、演習などを重視したクラス編成を行います。 (3) 授業の実施においては、考える力や洞察力を涵養するために、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習、グループ・ディスカッション、ディベートなどを中心としたアクティブ・ラーニングを積極的に活用します。 (4) 成績評価を GPA で表示するとともに、学位プログラムごとの到達目標と各科目の関係を明確にし、知識・能力の習得状況を学修ポートフォリオを通じて学生にフィードバックします。
3) 学修成果の評価 学生の学修成果についての評価方法を各科目のシラバスで示し、その方法に従って評価します。

カリキュラムマップ														
到達目標												対応する卒業認定・学位授与の方針（学科）の番号		
A	日本文学について分析するために必要となる基礎的知識を獲得する。											(4)		
B	日本語について分析するために必要となる基礎的知識を獲得する。											(4)		
C	自らの考えを分かりやすく表現し、他者に伝える力を身につける。											(5)		
D	的確な問いをたてて問題解決を図る能力を培う。											(2) (4)		
E	さまざまな時代の文章を的確に理解するための基礎的な読解力を養う。											(4)		
F	日本語を用いて論理を構成し文章で他者を説得できる能力を身につける。											(5)		
G	日本語と日本文学に対する知識を応用し、社会で生かすことのできる力を養う。											(1) (3)		
H	情報を的確に取捨選択し、有効に活用する能力を養う。											(6)		
I	研究リテラシーを体得し、日本語と日本文学に関する高度な分析能力を身につける。											(5)		
J	日本語を通じて社会とのつながりを保持し、地域の連携を深めることのできる能力を身につける。											(1) (4)		
専門教育科目表（日本語日文学科）														
〔2025 年度（令和 7 年度）の入学生に適用〕														
授業科目名		単位数	配当年次	到達目標										
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
必修科目	日本文学概論Ⅰ	2	1	○				○				○		
	日本文学概論Ⅱ	2	1	○				○				○		
	日本語学概論Ⅰ	2	1		○		○					○		
	日本語学概論Ⅱ	2	1		○		○					○		
	基礎演習Ⅰ	2	1	○	○	○	○				○			
	基礎演習Ⅱ	2	1	○	○	○	○				○			
	演習Ⅰ a	2	2	○	○	○	○					○		
	演習Ⅰ b	2	2	○	○	○	○					○		
	演習Ⅱ a	2	3			○	○		○			○		
	演習Ⅱ b	2	3			○	○		○			○		
	研究演習	2	4			○	○		○			○		
	卒業研究	8	4			○	○		○			○		
以上 30 単位必修														
基礎科目	日本語表現法Ⅰ	2	1			○			○					
	日本語表現法Ⅱ	2	1			○			○					
	日本文学史Ⅰ a	2	1	○			○	○						
	日本文学史Ⅰ b	2	1	○			○	○						
	日本文学史Ⅱ a	2	1	○				○						
	日本文学史Ⅱ b	2	1	○				○						
	漢文学Ⅰ a	2	1					○			○			
	漢文学Ⅰ b	2	1					○			○			
	漢文学Ⅱ a	2	2					○			○			
	漢文学Ⅱ b	2	2					○			○			
	日本語史Ⅰ	2	2		○						○			
	日本語史Ⅱ	2	2		○						○			
	日本語文法論Ⅰ	2	2		○						○			
	日本語文法論Ⅱ	2	2		○						○			
④以上のうち 16 単位以上選択必修														
発展科目	日本文学分野	古典文学	上代文学講読Ⅰ	2	1	○				○				
			上代文学講読Ⅱ	2	1	○				○				
			中古文学講読Ⅰ	2	1	○				○				
			中古文学講読Ⅱ	2	1	○				○				
			中世文学講読Ⅰ	2	1	○				○				
			中世文学講読Ⅱ	2	1	○				○				
			近世文学講読Ⅰ	2	1	○				○				
			近世文学講読Ⅱ	2	1	○				○				

授業科目名		単位数	配当年次	到達目標									
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
発展科目	日本文学分野	古典文学	上代文学研究	2	3		○	○	○				
			中古文学研究	2	3		○	○	○				
			中世文学研究	2	3		○	○	○				
			近世文学研究	2	3			○	○				
		以上のうち8単位以上選択必修											
		近現代文学	近代文学講読Ⅰ	2	1	○		○					
			近代文学講読Ⅱ	2	1	○		○					
			近代文学講読Ⅲ	2	2	○		○					
			近代文学講読Ⅳ	2	2	○		○					
			現代文学講読Ⅰ	2	1	○		○					
			現代文学講読Ⅱ	2	1	○		○					
			現代文学講読Ⅲ	2	2	○		○					
			現代文学講読Ⅳ	2	2	○		○					
			近代文学研究	2	3			○	○				
			現代文学研究	2	3			○	○				
		以上のうち6単位以上選択必修											
	日本語分野	日本語のしくみ	言語学概論Ⅰ	2	1		○				○		
			言語学概論Ⅱ	2	1		○				○		
			日本語音声Ⅰ	2	2		○				○		
			日本語音声Ⅱ	2	2		○				○		
			日本語語彙論Ⅰ	2	2		○				○		
			日本語語彙論Ⅱ	2	2		○				○		
			現代日本語研究Ⅰ	2	2		○				○		
			現代日本語研究Ⅱ	2	2		○				○		
			日本語学特殊講義Ⅰ	2	2		○				○		
		以上のうち4単位以上選択必修											
		日本語と社会	マスコミ言語研究Ⅰ	2	1			○			○		○
			マスコミ言語研究Ⅱ	2	1			○			○		○
			日本語教育概論Ⅰ	2	1			○					○
			日本語教育概論Ⅱ	2	1			○					○
			社会言語学Ⅰ	2	2		○			○			○
			社会言語学Ⅱ	2	2		○			○			○
			対照言語学Ⅰ	2	2		○				○		
			対照言語学Ⅱ	2	2		○				○		
			日本語学特殊講義Ⅱ	2	2		○				○		
			日本語教育研究Ⅰ	2	2			○		○			
			日本語教育研究Ⅱ	2	2			○		○			
			日本事情	2	3					○			○
			日本語教授法研究Ⅰ	2	2			○		○			
			日本語教授法研究Ⅱ	2	2			○		○			
			日本語教育特殊講義	2	3			○		○			
			日本語教授法実習Ⅰ	2	3			○		○			
			日本語教授法実習Ⅱ	2	4			○		○			
		以上のうち4単位以上選択必修											
	共通分野	文学と表現Ⅰ	2	2	○		○						
		文学と表現Ⅱ	2	2	○		○						
		日本文学特殊講義Ⅰ	2	3				○	○				
		日本文学特殊講義Ⅱ	2	3				○	○				
		比較文学特殊講義	2	2	○			○					
		ことばの研究	2	2			○						○
		こどもの文学とことば	2	3	○		○			○			
		関西のことばと文学	2	2	○	○							○
		日本の舞台芸術	2	3						○	○		○

授業科目名			単位数	配当年次	到達目標									
					A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
発展科目	共通分野	映像表現研究	2	3			○					○		
		マンガ・アニメ史	2	3			○					○		
		融合フォーラム（ジェンダー）	2	3			○	○						○
		演習Ⅲ a	2	4			○	○		○			○	
		演習Ⅲ b	2	4			○	○		○			○	
		書道	2	2			○	○			○			
		以上のうち4単位以上選択必修												
⑧以上のうち40単位以上選択必修														
関連科目	横断演習Ⅰ	2	1			○	○							
	横断演習Ⅱ	2	1			○	○							
	英語圏文化Ⅰ	2	3				○				○		○	
	英語圏文化Ⅱ	2	3				○				○		○	
	英語の獲得と理解	2	3				○				○			
	社会心理学	2	2									○	○	
	文化人類学	2	2				○						○	
	多文化共生論	2	2							○			○	
	地域社会論	2	2				○						○	
	情報社会論	2	2				○				○			
	コミュニケーション研究	2	3						○				○	
	メディア研究	2	3						○				○	
	現代文化論	2	2				○				○			
	文学思想史	2	2				○	○	○	○				
	発達心理学	2	2				○	○						
	民俗学の諸問題Ⅰ	2	2					○					○	
	民俗学の諸問題Ⅱ	2	2					○					○	
	地理学・民俗学資料研究Ⅰ	2	2					○					○	
	地理学・民俗学資料研究Ⅱ	2	2					○					○	
	古文書学Ⅰ	2	3						○				○	
	古文書学Ⅱ	2	3						○				○	
	I T応用	2	1				○			○		○		
	阪神文化論	2	1									○		○
卒業必要単位数 102 単位以上														